2026年8・9・10月購入・受入れ

新着図書のご案内

姫路市立城郭研究室

古文書の面白さ
北小路健
新潮社

将軍家「将棋指南役」
手嶋兼輔
講談社

小倉藩
守友隆
現代書館

絵画史料を読む
斉藤研一
勉誠出版



黒羽藩
新井敦史
現代書館

洛中洛外図屏風の歴史学
大塚活美
吉川弘文館

浅尾藩
高橋美智子　舟久保藍
現代書館

豊臣政権と熊野の城
伊藤裕偉
吉川弘文館

小藩大名の家臣団と陣屋町１～３
米田藤博
クレス出版

決定版日本の名城 67～73
日本城郭協会/監
デアゴスティーニ・ジャパン

戦国城郭の石垣
中井均　乗岡実　松井一明/編
雄山閣

城館と戦士
吉井宏
高志書院

江戸時代の環濠都市・堺
環濠都市の記憶を未来に育む会　薮田貫ほか
サンライズ出版



今月のおすすめ本紹介！！



織豊・近世城郭の天守と天守台

高田徹/編　岩田書院

本書では、織田・豊臣時代に始まり、江戸時代にかけて築かれてきた城郭の天守と、その土台である天守台との関係、築城当時の技術、時代背景に目を向けています。また、明石城や赤穂城をはじめ天守台は築かれたが、天守を築かなかったお城、火災による焼失後、再建されたお城、再建されなかったお城、意図的に解体されたお城にも着目し、その歴史的な背景などを考察しています。観光で外観を眺めるだけではわからない、天守や天守台に込められた工夫や城づくりの魅力を感じられる、おすすめの専門書です。

殿様の左遷・栄転物語

榎本秋　朝日新聞出版

江戸時代の大名たちが経験した、国替えや領地替えに対する苦楽を描いた一冊です。幕府の命令ひとつで、慣れ親しんだ土地を離れ、遠国へ移される殿様もいれば、思いがけず領地の加増を受け、栄転を果たした殿様もいました。移転にともなう家臣や領民の苦労、藩の財政事情、大名同士の駆け引きなどをたどることで、大名社会の裏側にある現実が見えてきます。人事異動にも似た「左遷」と「栄転」を手がかりに、江戸時代の政治や暮らしを身近に感じられる内容になっています。

※　上記の図書は、日本城郭研究センター2 階　城郭資料特別閲覧室にて閲覧していただけます。
※　貸し出しはしていません。
※　開室時間は、月曜日から金曜日　9：00～12：00　13：00～17：00
※　土、日曜日・休日・年末年始は閉室しています。
※　上記の図書以外にも姫路城や姫路の歴史に関する蔵書など貴重な書物をたくさん収蔵していますので、興味のある方は、是非お越しください。
※　城郭研究室への問い合わせ先及びホームページは、下記のとおり。



姫路市立城郭研究室（日本城郭研究センター2 階）
TEL　079（289）4877
URL https://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/

